

令和 8 年度の予防接種事業について

1 RS ウイルス感染症定期予防接種

(1) 目的

国において、RSウイルス感染症の発生及びまん延の予防を図ることを目的とし、RS ウイルス感染症が予防接種法上のA類疾病に位置づけられることになった。

RSウイルス感染症の定期予防接種化に伴い、本区においてもRSウイルス感染症の定期予防接種を実施する。

(2) 内容

- ① 対象者 妊娠 28 週から 37 週に至るまでの方
- ② 対象ワクチン 組換え RS ウイルスワクチン アプリスポ®筋注用
- ③ 接種回数 妊娠毎に 1 回
- ④ 実施方法 接種実施医療機関での個別接種
- ⑤ 本人負担 無料

(3) 周知方法

対象者への個別通知、ちゅうおう子育てナビアプリ、区のおしらせ及び区ホームページに掲載

2 高齢者への肺炎球菌感染症定期予防接種のワクチン変更

(1) 目的

国において、肺炎球菌感染症の発病またはその重症化を防止することを目的とし、高齢者への肺炎球菌感染症定期予防接種で使用するワクチンを沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチンに変更することになった。

ワクチン変更に伴い、本区においても高齢者への肺炎球菌定期予防接種で使用するワクチンを変更する。

(2) 内容

- ① 対象者
 - ア 65 歳の方
 - イ 60～64 歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で身体障害者手帳 1 級の方
- ② 変更後ワクチン 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン
- ③ 接種回数 1 回
- ④ 実施方法 接種実施医療機関での個別接種
- ⑤ 本人負担 3,000 円

(3) 周知方法

すでに予診票をお持ちの方へは、新規の予診票を再送する。令和8年度からの対象者へは個別通知を行う。その他、区のおしらせ及び区ホームページに掲載する。

3 高齢者へのインフルエンザ定期予防接種のワクチン追加

(1) 目的

国において、インフルエンザの発病や重症化の防止を図るため、高齢者へのインフルエンザ定期予防接種で使用するワクチンに、より効果の高い高用量インフルエンザ HA ワクチンを追加することになった。

ワクチンの追加に伴って、本区においても高用量インフルエンザ HA ワクチンの定期予防接種を実施する。

(2) 内容

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ① 対象者 | 75 歳以上の方 |
| ② 対象ワクチン | 高用量インフルエンザ HA ワクチン |
| ③ 接種回数 | 毎年度 1 回 |
| ④ 実施方法 | 実施医療機関での個別接種 |
| ⑤ 実施期間 | 毎年度 10 月 1 日から翌年度の 1 月 31 日まで |
| ⑥ 本人負担 | 無料 |

(3) 周知方法

対象者への個別通知、区のおしらせ及び区ホームページに掲載